



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

群馬からめざせ！防衛医大

田畑 亜沙美

群馬地本・高崎地域事務所（所長 土屋 3 尉）は 8 月 2 日（月）防衛医科大学生 2 年神宮学生の支援を受け防衛医大説明会を開催した。

神宮学生による説明会は今回 2 回目、群馬県内はもちろん、県外からの参加もあり好評の説明会である。当日は 5 名の生徒とその保護者が参加し、学生から受験対策や入校後の生活など様々な質問を受け不安解消を行った。

神宮学生から「防衛医大は難しくてなかなか入れないイメージですが、あきらめず努力すれば合格できる。学びながら手当をもらって本当にありがたいし、良い環境で勉強が出来て毎日が充実していて本当に入って良かったと思っています。来年、防衛医大でみんなが入校してくるのを待っているよ。頑張れ！応援してるぞ！」と激励した。

説明会の後、恒例となっている連絡先交換が行われ、今後は神宮学生は群馬県出身の医大生は少ないという状況の中、1 人でも県内から自身に続く後輩を輩出したという熱い気持ちで個別に受験相談も受けてくれるとのことである。



群馬地本は防衛医大を目指す学生のため今後も説明会を開催し全力で受験生をサポートしたい。



前橋募集案内所、母校訪問を支援

自衛隊群馬地方協力本部前橋募集案内所（所長 只野 1 陸尉）は、8 月 3 日（火）陸上自衛隊高等工科学校に入校した飯島拓飛生徒の前橋市立粕川中学校への母校訪問を支援した。

今回の母校訪問は、新型コロナウイルス禍の影響により入校後初めての訪問であり、出身中学の自衛隊への理解で実現したものである。

学校では、内山校長をはじめ各教諭と懇談を実施し、飯島生徒により陸上自衛隊高等工科学校の魅力伝えることが出来た。また、在校時、部長として活躍していたサッカー部を訪れ、顧問や後輩に対しても同様に魅力を伝えることが出来た。

学校長や各教諭からは、「在校時と同様に元気で安心した。顔つきや姿も凛々しくなり一般の高校生とは違ふ」とのご意見があり、後輩からも「かっこいい」との素直な意見が出ていた。

前橋募集案内所は、「今後も各中学校に対する母校訪問支援等を実施し、信頼関係構築に努めるとともに、自衛隊の魅力発信し募集業務の任務完遂にまい進する」としている。



左から 3 番目が飯島生徒



恩師とのツーショット